

平成 25 年 9 月 17 日

投資者の皆様へ

T&Dアセットマネジメント株式会社

**「T&D 通貨トレード 新興国社債ファンド(毎月分配型)」の
2013 年 9 月 17 日決算の分配金について**

拝啓 時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

平素は弊社の投資信託に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、弊社が運用しております「T&D 通貨トレード 新興国社債ファンド(毎月分配型)」(以下、「ファンド」といいます。)につきまして、各コースにおける2013年9月17日決算の分配金を下記の通りご案内申し上げます。

今後ともお引き立てを賜りますよう、宜しく願い申し上げます。

敬具

■ 第 20 期分配金 (1 万口当たり、税引前)

円ヘッジ・コース	米ドルブル・コース	米ドルベア・コース	ユーロブル・コース	ユーロベア・コース	リアルブル・コース	豪ドルブル・コース
40 円	100 円	40 円	80 円	40 円	140 円	250 円

■ 第 13 期分配金 (1 万口当たり、税引前)

豪ドルベア・コース	インドネシアブル・コース
10 円	90 円

※ 円ヘッジ・コースにおける第 20 期分配金を、これまでの 80 円から 40 円に変更することといたしました。詳細につきましては、2 ページ目をご覧ください。

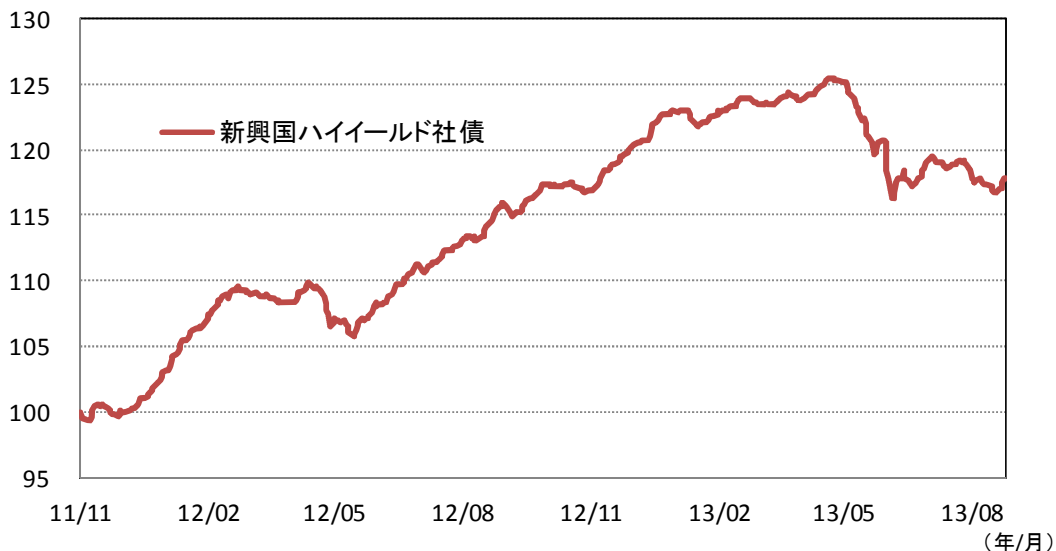
■ 円ヘッジ・コースの分配金の変更について

設定来、ファンドが実質的な主要投資対象とする新興国ハイイールド社債は堅調に推移してきましたが、2013年5月以降は下落傾向にあります。利回りについては、依然として相対的に高い水準(年7.9%[インデックスベース(2013年8月30日現在)])を維持しておりますが、新興国ハイイールド社債の価格下落に伴い、ファンドの各コースにおいて基準価額は下落傾向にあります。

ファンドにおいては、コース毎に基準価額水準や市況動向等を勘案して分配金額を決定します。2013年2月の決算において基準価額水準等を勘案し、分配金の引上げを行いました。今期決算において、円ヘッジ・コースの基準価額が一定の水準を下回ったため、分配金の水準を見直すことといたしました。

- ※ 分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。
- ※ 分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
- ※ 詳細につきましては「投資信託説明書(交付目論見書)」の「分配方針」をお読みください。

○ 新興国ハイイールド社債のパフォーマンス推移(インデックスベース)



- ※2011年11月22日を100として指数化
- 期間:2011年11月22日(設定日)~2013年9月13日(日次)
- 出所:J.P. Morgan Securities Inc.よりT&Dアセットマネジメントが作成
- 新興国ハイイールド社債:JPモルガン CEMBI ブロード・ダイバーシファイド(Non-Investment Grade)(米ドル建て)

■ 各コースの分配原資について

2013年9月17日決算時点での収益分配可能額は以下の通りです。(1万口当たり、税引前)

	第20期決算						第13期決算		
	円ヘッジ・コース	米ドルブル・コース	米ドルベア・コース	ユーロブル・コース	ユーロベア・コース	リアルブル・コース	豪ドルブル・コース	豪ドルベア・コース	インドネシアルピアブル・コース
前営業日の基準価額(9月13日)	10,080円	12,940円	7,761円	12,637円	7,925円	11,143円	11,914円	8,285円	10,731円
収益分配可能額	1139.69円	4236.76円	664.79円	4502.90円	1029.43円	3996.88円	4650.62円	662.33円	2281.48円
収益分配金額	40円	100円	40円	80円	40円	140円	250円	10円	90円
決算日の基準価額(9月17日) (分配落ち後基準価額)	10,047円	12,823円	7,744円	12,545円	7,903円	10,955円	11,629円	8,311円	10,574円

■ 新興国社債市場の見通し

米国経済の底堅い回復が、欧州経済停滞への懸念を補う形で世界経済は回復・成長していくという基本的な見方に変更はありません。

米国ハイイールド社債に対してはバリュエーション面で割高との見方から売りが先行しました。しかし、インドやインドネシアのような新興国市場においては、米国の量的緩和縮小観測を背景に引続きテクニカルな動きに左右されています。また、長らく調整局面が続いていた中国経済に関しては、足許の中国製造業購買担当者景気指数(PMI)が予想を上回る水準となり、景況感の底入れ・改善傾向が観測されました。

当面主要国の金融緩和が継続される見込みで、企業ファンダメンタルズも良好な状況にあることから、新興国社債市場の流動性は十分に確保されており、デフォルト率も低く推移すると見込まれます。

来月以降はリファイナンスの必要性から新発債の発行が拡大する見込みですが、年前半に比べると新発債の供給圧力は低くなるとの見通しから、新発債は順調に消化されることが見込まれます。

このような市場環境の下、投資方針としては引続きファンダメンタルズやバリュエーション面で魅力の高いセクターや銘柄の発掘に注力し、パフォーマンス向上を目指します。

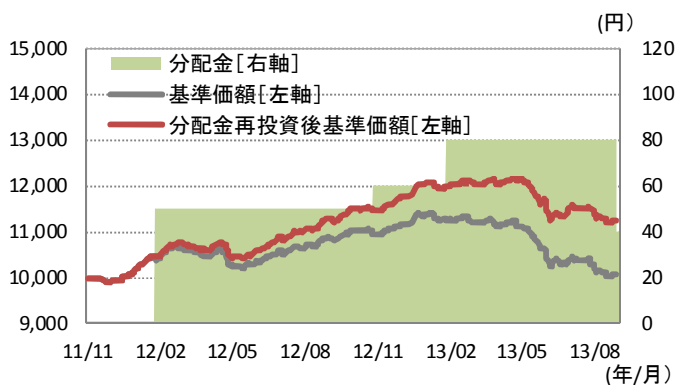
出所: JPモルガン・アセット・マネジメント(UK)リミテッド

■ 基準価額の推移 (設定日～2013年9月17日)

※ 「分配金再投資後基準価額」の推移は税引前分配金を全額再投資したものと計算しているため、実際の投資者利回りとは異なります。基準価額は信託報酬控除後です。

※ 円ヘッジ・コース、米ドルブル・コース、米ドルベア・コース、ユーロブル・コース、ユーロベア・コース、豪ドルブル・コース、リアルブル・コースの設定日は2011年11月22日です。豪ドルベア・コース、インドネシアルピアブル・コースの設定日は2012年6月15日です。

○ 円ヘッジ・コース



[直近5期の分配実績]

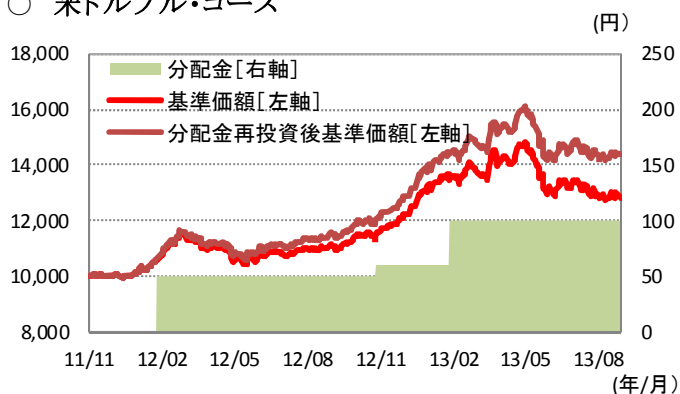
	決算日	分配金
第16期	2013/5/15	80円
第17期	2013/6/17	80円
第18期	2013/7/16	80円
第19期	2013/8/15	80円
第20期	2013/9/17	40円
設定来		1,230円

※1万口当たり、税引前

2013/9/17

基準価額	10,047円
純資産総額	65.6億円

○ 米ドルブル・コース



[直近5期の分配実績]

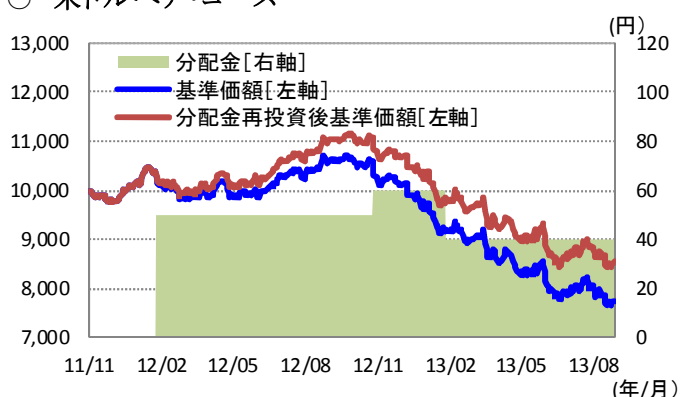
	決算日	分配金
第16期	2013/5/15	100 円
第17期	2013/6/17	100 円
第18期	2013/7/16	100 円
第19期	2013/8/15	100 円
第20期	2013/9/17	100 円
設定来		1,430 円

※1万口当たり、税引前

2013/9/17

基準価額	12,823 円
純資産総額	8.7 億円

○ 米ドルベア・コース



[直近5期の分配実績]

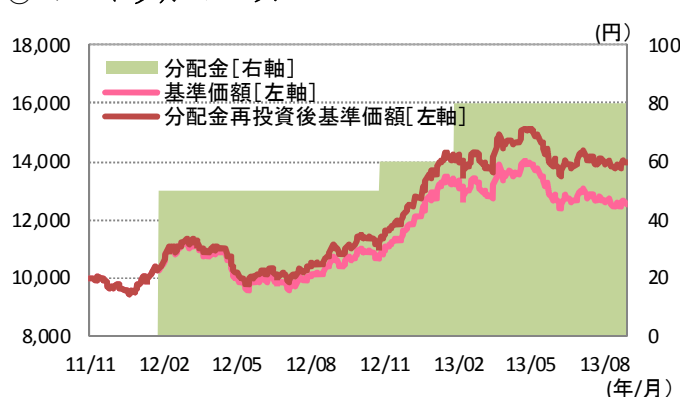
	決算日	分配金
第16期	2013/5/15	40 円
第17期	2013/6/17	40 円
第18期	2013/7/16	40 円
第19期	2013/8/15	40 円
第20期	2013/9/17	40 円
設定来		950 円

※1万口当たり、税引前

2013/9/17

基準価額	7,744 円
純資産総額	1.1 億円

○ ユーロブル・コース



[直近5期の分配実績]

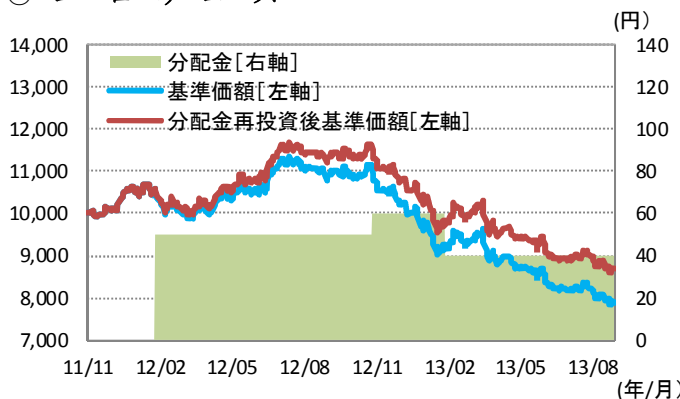
	決算日	分配金
第16期	2013/5/15	80 円
第17期	2013/6/17	80 円
第18期	2013/7/16	80 円
第19期	2013/8/15	80 円
第20期	2013/9/17	80 円
設定来		1,270 円

※1万口当たり、税引前

2013/9/17

基準価額	12,545 円
純資産総額	0.8 億円

○ ユーロベア・コース



[直近5期の分配実績]

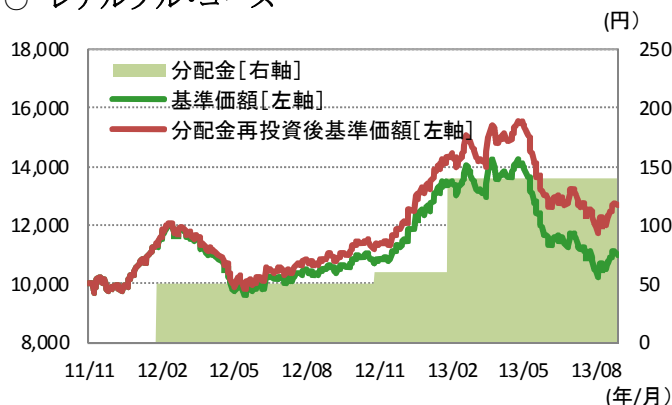
	決算日	分配金
第16期	2013/5/15	40 円
第17期	2013/6/17	40 円
第18期	2013/7/16	40 円
第19期	2013/8/15	40 円
第20期	2013/9/17	40 円
設定来		950 円

※1万口当たり、税引前

2013/9/17

基準価額	7,903 円
純資産総額	3.1 億円

○ レアルブル・コース



[直近5期の分配実績]

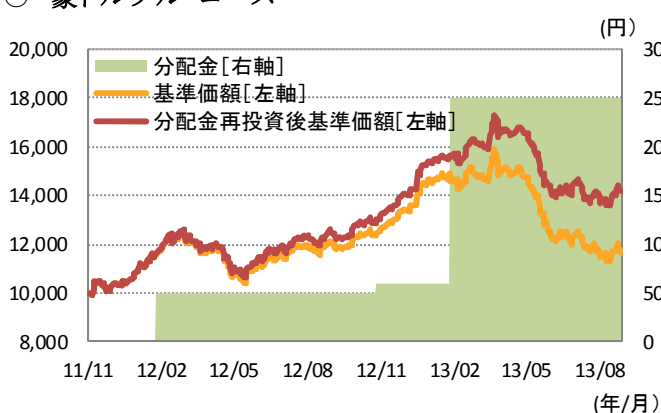
	決算日	分配金
第16期	2013/5/15	140 円
第17期	2013/6/17	140 円
第18期	2013/7/16	140 円
第19期	2013/8/15	140 円
第20期	2013/9/17	140 円
設定来		1,750 円

※1万口当たり、税引前

2013/9/17

基準価額	10,955 円
純資産総額	16.0 億円

○ 豪ドルブル・コース



[直近5期の分配実績]

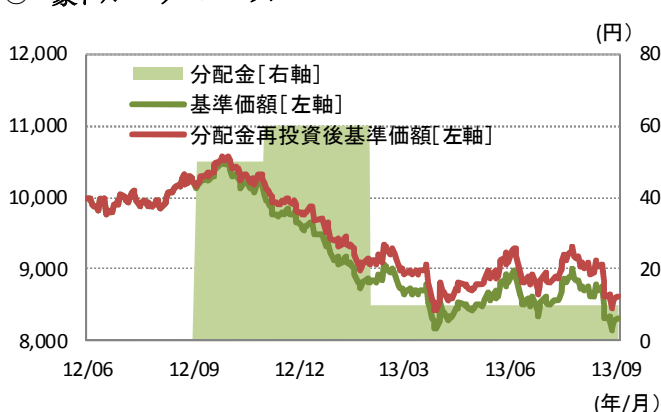
	決算日	分配金
第16期	2013/5/15	250 円
第17期	2013/6/17	250 円
第18期	2013/7/16	250 円
第19期	2013/8/15	250 円
第20期	2013/9/17	250 円
設定来		2,630 円

※1万口当たり、税引前

2013/9/17

基準価額	11,629 円
純資産総額	16.9 億円

○ 豪ドルベア・コース



[直近5期の分配実績]

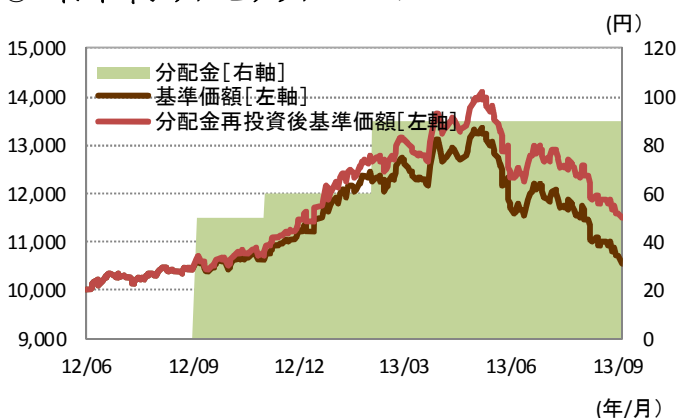
	決算日	分配金
第9期	2013/5/15	10 円
第10期	2013/6/17	10 円
第11期	2013/7/16	10 円
第12期	2013/8/15	10 円
第13期	2013/9/17	10 円
設定来		360 円

※1万口当たり、税引前

2013/9/17

基準価額	8,311 円
純資産総額	0.2 億円

○ インドネシアルピアブル・コース



[直近5期の分配実績]

	決算日	分配金
第9期	2013/5/15	90 円
第10期	2013/6/17	90 円
第11期	2013/7/16	90 円
第12期	2013/8/15	90 円
第13期	2013/9/17	90 円
設定来		1,000 円

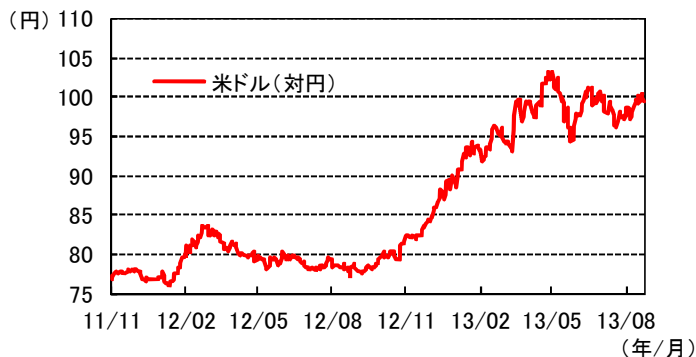
※1万口当たり、税引前

2013/9/17

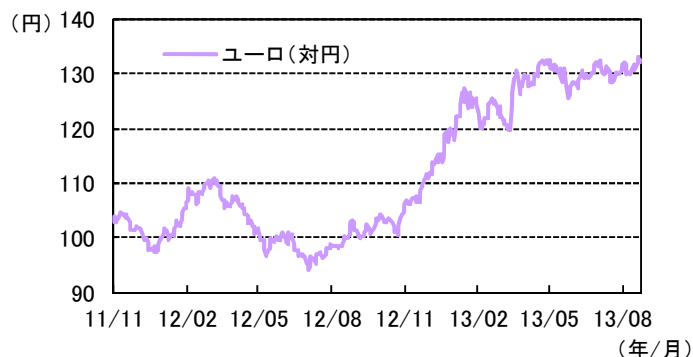
基準価額	10,574 円
純資産総額	2.7 億円

■ 為替(対円レート)の推移

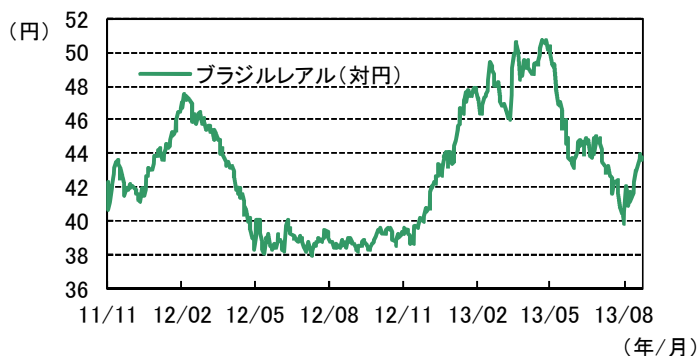
○ 米ドルの推移



○ ユーロの推移



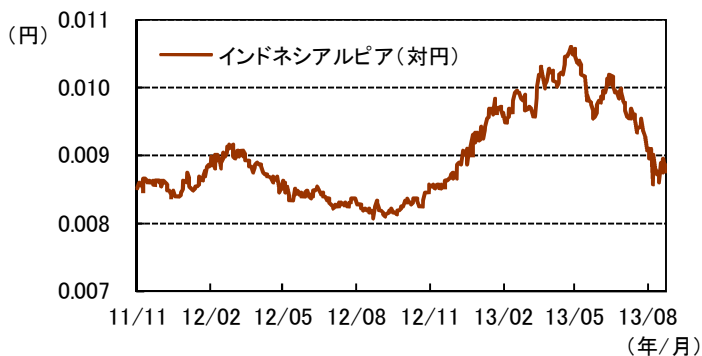
○ ブラジルレアルの推移



○ 豪ドルの推移



○ インドネシアルピアの推移



期間:2011年11月22日~2013年9月13日(日次)

出所:BloombergよりT&Dアセットマネジメントが作成

■ ファンドの目的

安定的なインカム収益の獲得と中長期的な信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。

■ ファンドの特色



○米ドル建ての新興国ハイイールド社債を実質的な主要投資対象とします。

- ・新興国ハイイールド社債の運用は、JPモルガン・アセット・マネジメント(UK)リミテッドが行います。

○ファンドは、米ドルの円に対する為替変動リスクを低減させた「円ヘッジ・コース」に加え、相場環境に応じて機動的な投資が可能な8つの通貨コースを合わせた、合計9つのコースから構成されており、各ファンド間でのスイッチングが可能です。

- ・円による為替ヘッジ^(注1)により為替変動リスクを低減させた「円ヘッジ・コース」に加えて、円安・円高のそれぞれの局面に有効な選択肢を提供できる「米ドル円グループ」「ユーロ円グループ」「豪ドル円グループ」のほか、為替取引によるプレミアム^(注2)の獲得が期待できる「高金利通貨グループ」があります。

注1: ファンドにおける「為替ヘッジ」とは、円買い/米ドル売りを行うことで、実質的な主要投資対象である米ドル建ての新興国ハイイールド社債を円ヘッジすることをいいます。また、それに伴って発生する金利差損益のことをそれぞれ「為替ヘッジによるコスト」「為替ヘッジによるプレミアム」と呼びます。なお、為替ヘッジにより米ドルの円に対する為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるわけではありません。

注2: ファンドにおける「為替取引」とは、円ヘッジ(円から見た為替リスクの回避)以外の目的で行う為替運用をいいます。また、それに伴って発生する金利差損益のことをそれぞれ「為替取引によるコスト」「為替取引によるプレミアム」といいます。なお、高金利通貨グループ以外のコースにおいても為替取引によるコスト/プレミアムは発生します。

○毎月15日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。

- ・分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。

■ 分配方針(毎月分配型)

毎月15日(該当日が休業日の場合は翌営業日とします。)に、原則として、以下の方針に基づき収益の分配を行います。

- ① 分配対象額は、経費控除後の配当等収益および売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。
- ② 収益分配金額は、分配対象額の範囲内で、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託会社が決定するものとします。
- ③ 原則として、配当等収益を中心に分配を行うことを目指します。ただし、基準価額水準等によっては売買益(評価益を含みます。)が中心となる場合があります。また、必ず分配を行うものではありません。
- ④ 収益分配に充てず、信託財産に留保した利益については、運用の基本方針にしたがって運用を行います。

■ 販売会社

大和証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第108号

加入協会/日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

一般社団法人金融先物取引業協会 一般社団法人第二種金融商品取引業協会

本資料は投資者にT&Dアセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等により作成したのですが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また投資信託の取得をご希望の場合は、下記のご留意事項を必ずご確認ください、ご自身でご判断ください。

ファンドのお申込みに際してのご留意事項

以下のリスクは、投資信託説明書(交付目論見書)に記載されているリスクを要約したものです。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

ファンドの基準価額は、投資を行って有価証券等の値動きによる影響を受けますが、これらの運用による利益および損失は全て投資者に帰属します。したがって、ファンドは投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。なお、ファンドは預貯金とは異なります。

◎ファンドの基準価額の変動要因となる主たるリスクについて

「債券価格変動リスク」「信用リスク」「カントリーリスク」「為替変動リスク」「流動性リスク」

※ 基準価額の変動要因(リスク)は、上記に限定されるものではありません。

◎分配金に関する留意点

- ・ 分配金は、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。したがって、分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- ・ 投資者の購入価額(個別元本の状況)によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。
- ・ 分配金はファンドの純資産から支払われますので、分配金支払後の純資産は分配金相当額が減少し、基準価額が値下がりする要因となります。

ファンドの費用

■投資者が直接的に負担する費用(大和証券でお申込みの場合)

購入時手数料	購入金額に応じて以下の率を乗じて得た額とします。 購入金額:(申込受付日の翌営業日の基準価額/1万円)×購入口数(当初1万円=1万円) 【購入時手数料率】 <table border="0"> <tr> <td>[購入金額]</td> <td>[手数料率]</td> </tr> <tr> <td>5,000万円未満</td> <td>: 3.150%(税抜3.0%)</td> </tr> <tr> <td>5,000万円以上1億円未満</td> <td>: 1.575%(税抜1.5%)</td> </tr> <tr> <td>1億円以上5億円未満</td> <td>: 1.050%(税抜1.0%)</td> </tr> <tr> <td>5億円以上</td> <td>: 0.525%(税抜0.5%)</td> </tr> </table>	[購入金額]	[手数料率]	5,000万円未満	: 3.150%(税抜3.0%)	5,000万円以上1億円未満	: 1.575%(税抜1.5%)	1億円以上5億円未満	: 1.050%(税抜1.0%)	5億円以上	: 0.525%(税抜0.5%)
[購入金額]	[手数料率]										
5,000万円未満	: 3.150%(税抜3.0%)										
5,000万円以上1億円未満	: 1.575%(税抜1.5%)										
1億円以上5億円未満	: 1.050%(税抜1.0%)										
5億円以上	: 0.525%(税抜0.5%)										
信託財産留保額	ありません。										
スイッチング時手数料	購入価額に対して 0.21%(税抜0.2%) (円ヘッジ・コースへのスイッチングには手数料はかかりません。)										

■投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用(信託報酬)	毎日、ファンドの純資産総額に 年1.344%(税抜1.28%) の率を乗じて得た額とします。 実質的にご負担いただく信託報酬率: 年1.974%(税抜1.91%)程度 (注)ファンドが投資対象とする外国投資信託の信託報酬を加味して、投資者が実質的に負担する信託報酬率について算出したものです。
その他の費用・手数料	【監査費用】 毎日、ファンドの純資産総額に 年0.0084%(税抜0.008%) の率を乗じて得た額とし、ファンドでご負担いただきます。 【その他】 証券取引に伴う手数料等をファンドでご負担いただきます。これらの費用・手数料については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率・上限額等を示すことができません。

※上記の費用の合計額については、投資者がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※詳細につきましては必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をお読みください。